



▲訓練用の水消火器。地面に置いて体重をかけてレバーを押す方法で、女性や小さなお子さんでも簡単に扱うことができます。

地域で高める、防災意識

仲郷地区自主防災隊 老若男女約 60 人で防災訓練

1 月 16 日、仲郷地区自主防災隊による防災訓練が、井関農村公園で実施されました。

市防災危機管理課や石岡消防署などの協力のもと行われ、近隣住民を含めた約 60 人が参加しました。周りに火事を知らせる「火事だー！」という大きな掛け声で、素早く消火活動を行っていました。

いざという時に命と財産を守る知識と経験。日頃から、一人ひとりが災害に備える『防災意識』が大切です。



▲(写真左から) 谷島市長、沼田直子さん、高野和子さん、須田久美子さん

土木の魅力を知ってもらいたい

女性土木技術者から 「ドボジョ」の絵本を寄贈

1 月 18 日、土木技術者女性の会東日本支部と県建設業協会女性部会「建女ひばりの会」から、土木についてカラーで分かりやすくまとめられた 10 巻セット「ドボジョママに聞く土木の世界」と「橋のたんけん」23 冊を寄贈いただきました。

寄贈された絵本は、市内小学校や図書館に配架する予定です。

沼田さんは「親子で読んで、性別関係なく土木で活躍する人を増やしていきたい」と話しました。

若者の目線で考えるまちの未来

早稲田大学大学院生から 魅力向上に向けた政策提言

市では、平成 28 年度から早稲田大学大学院との連携事業を行っています。地方自治を研究テーマとしている藤井浩司教授のゼミにおいて、市職員による講義や、市内のフィールドスタディなどを実施してきました。そして、1 月 24 日、学生から市長・副市長へ、市の情報発信、歴史・観光の活用についての政策提言をいただきました。

今後はいただいた提案を参考にし、市の魅力向上に向けた事業を展開していく予定です。



▲新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市長・副市長への成果発表は、オンラインで行われました。



▲「親子ゴミ拾い大作戦 ピックアップチャレンジ♪」第二弾の今回は、市内外から親子 10 組を含む 31 人が参加しました。

ゲームの要素を取り入れごみ拾い 楽しく学べてまちもきれいに ピックアップチャレンジ開催

1 月 30 日、園部地区の道路で、ごみ拾い活動が行われました。企画したのは、子育て支援グループ「やさとおおぞら♪」代表の藤田陽子さん。ごみの分解に要する年数に応じて、点数が決められていて、合計点を競う方式です。藤田さんは「楽しみながら環境問題に関心を持ってもらえたら」と話します。約 2km のコースを歩き集めたごみは、45 ㍻ごみ袋 13 袋。参加者は「車で走っていると気付かないけど、結構あるね」と道端のごみの多さに驚いていました。

スポーツでまちに元気を 全国や関東で活躍した 市内のスポーツ選手に表彰状

2 月 22 日に、石岡市スポーツ振興奨励表彰およびスポーツ功労表彰式が行われました。

【受賞者のご紹介】

烏川愛加さん、武石玲那さん、富田千晴さん、前野和実さん、澤畑壮さん、井野美優さん、松本彩さん、山村美月さん、清水満さん、国府中学校空手部（奥谷真恋さん、大橋心音さん、甲花乃音さん）、山口政雄さん（順不同）

受賞者の皆さん、おめでとうございます。



▲それぞれバドミントン、ウエイトリフティング、空手道、体操競技、剣道で活躍した皆さんに、表彰状と楯が手渡されました。



▲（写真左から）原田飛駆人さん、石井洋亘さん、青山夏海さんが出場。石岡中のマスコットキャラクター「いっちゃん」も登場し、オンライン通話で県内各地の生徒と交流を深めました。

クイズを通して郷土愛を育む 第 9 回いばらきっ子郷土検定 交流会に石岡中学校が出場

3 月 1 日、県教育委員会が実施する「いばらきっ子郷土検定」のオンライン交流会が開催されました。

県内の中学 2 年生を対象に毎年行われ、県や市町村に関する歴史や文化、商工業、観光物産などについて、出題される問題を通じて楽しみながら学ぶものです。昨年に続き新型コロナウイルスの影響により、県大会をオンライン交流会に変更して実施。石岡市から石岡中学校が代表校として出場し、出題されたすべての問題に正解するなど、勉強の成果を発揮しました。